

日本山岳救助機構 (jRO:ジロー) 会員の皆様

2016 年度事後分担金のご通知とご報告 および 2015 年事後分担金の精算についてのお知らせ

① 2016年度事後分担金のご通知 **500 円**

●会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。

- ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
- ・2016年度の計算期間は2016年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり500円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
- ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日(管理期間)が2016年1月1日～12月31日の場合に、2016年の事後分担金のお支払いをお願いいたします(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2016年に属していない場合でも、本会員開始日が2016年の場合には、2016年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします)。
- ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- ・計算方法についてはP2～3をご参照ください。

② 2015年補てん金額の確定による相殺(割引)額 ▲ **300 円**

●対象となるのは2016年のjRO会員、かつ2015年事後分担金支払済みの会員の方です。 (退会者等を除きます。下記※注をご参照ください)

- ・2015年度の事後分担金は昨年500円と算出しましたが、2016年10月14日現在カバレッジ対象額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2015年度補てん金総額を上回ったため、2015年継続会員の方に▲**300円**を相殺(割引)させていただきます

※注:2016年にjRO会員で、かつ2015年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- ・すでに退会済、または2016年はjRO会員でない方
2016年度事後分担金のご案内および2017年度への更新のご案内がお送りできない場合等
- ・2015年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方
2015年は個人会員で2016年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- ・2015年と2016年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合等【2015年の事後分担金をお支払いいただいた2015年度の本会員ではなく、2016年度の本会員へ相殺(割引)処理が行われます】
- 各会員に関しての金額の詳細は2016年度から2017年度への更新のご案内をご参照ください。
- 2015年事後分担金の確定額計算についてはP4をご参照ください。

上記の対象の方の2016年事後分担金は、1会員あたり**200円**(500円－300円＝200円)となります

この件のお問い合わせはjRO事務センターへお願いいたします。

2016年補てん金お支払い実績表(★未請求含む)

| 月 | 遭難発生場所 | 遭難事故の概要 | 被害 | 補てん金額 |
|---|-----------------|--|------|-------------|
| 1 | 北アルプス 西穂高岳 | ※ 単独・道迷い 西穂高岳山頂から下山中、道に迷ったと思われる(頂上到達は写真で確認された)。翌日心肺停止状態で発見、県警ヘリにて収容。遺体搬送費用と遭対協より消耗品の請求を見込む。 | 死亡 | ¥500,000★ |
| 1 | 中央アルプス 檜尾岳 | ※ 単独・道迷い 前日、地図を風に飛ばされてしまったが以前にも歩いており方角は把握していたため、檜尾尾根から下山開始。途中、主尾根を外したと気づき戻ろうとするが戻れず、沢に迷い込み現在地も不明な為に救助要請。天候悪化によりヘリコプターの出動が難しく、地上から捜索隊が上がるが発見できず。救助要請2日後にヘリコプターが出動する。遭難者の上をヘリコプターが通過したため、その旨を警察署へ連絡。見通しの良いところでツェルトを旗代わりに振り発見される。救助まで2日間携帯電話で定時連絡あり。 | 特になし | ¥1,088,281 |
| 1 | 大雪山系旭岳 | ※ 単独・道迷い(?) 下山予定日(2/1)になっても帰らないと、家族が旭川東署に通報し道警山岳救助隊などが2日から捜索。自衛隊も出動したが発見できず。入山日(1/30)に旭岳山頂で目撃されていたことを手掛かりに数次の捜索あり。7月12日登山者に発見される。 | 死亡 | ¥1,775,568 |
| 1 | 徳島県 天狗塚 | ※ 病気 登山中に体調不良の為、歩行不能となる。同行者に降ろしてもらい最中に意識不明。防災ヘリにて最寄り医療機関へ収容。心筋梗塞。 | 死亡 | ¥87,960 |
| 2 | 福島県 大倉山 | ※ 単独・道迷い 13:50に入山。トレースが四方にあり、山頂を巻いてしまおうとしたが道迷い。21:00ごろ登山口で待機していた夫へ電話連絡したが、電波状況が悪く途切れ途切れ。この電話を受け夫が警察へ救助要請。警察と夫で呼びかけ等の捜索を行うが、21:40頃打ち切り。本人は一晩中歩き続け林道まで下山。翌5:30頃待機していた警察に保護される。翌日出動予定だった警察犬の飼育者よりキャンセル料が発生。 | 特になし | ¥10,000 |
| 2 | 八ヶ岳 蓼科山 | ※ 単独・転滑落 夏道を辿り蓼科山から双子山へ向かう下りで、強風によりバランスを失い滑落。雪が深く、次の目的地へも向かえず夏道にも戻れなくなったため警察へ救助要請。警察から移動しないよう指示があり、その場でビバーク。翌日、地元遭対協による人力での捜索と防災ヘリによる捜索が行われ、ヘリにより発見・救助される。 | 特になし | ¥114,660 |
| 2 | 中央アルプス 木曾駒ヶ岳 | ※ 道迷い 下山中、中岳を過ぎたあたりから視界不良により道がわからなくなる。同行者の滑落もあり、合流地点でも視界不良が続き、現在地の特定が不可となり警察へ救助要請。救助活動開始まで、岩陰にてビバーク。翌日6:00、視界が良くなり宝剣山荘まで下山、救助隊と合流。県警ヘリにて医療機関へ収容される。 | 病院収容 | ¥59,768 |
| 3 | かぐらスキー場 | ※ 道迷い 3名パーティーでバックカントリースキー滑走中、ガスにまかれ道迷い。視界不良のため、さらに迷い込みスキー場事務所へ連絡。パトロール隊の指示に従い尾根沿いに登り返す。正規ルートへ戻り下山中にパトロール隊と合流。スキー場より2万円の請求があり、3名で分割負担。うち1名がjRO会員。 | 特になし | ¥6,667 |
| 3 | 秋田県 森吉山 | ※ 単独・道迷い ガスの中、小屋から山頂へ向け出発するが1400M地点で引き返す。下山路を見失いビバーク。翌日早朝に自力下山。予約していたタクシー会社から家族へ連絡があり家族・所属山岳会から警察へ救助要請。 | 特になし | ¥20,470 |
| 3 | 中央アルプス 空木岳 | ※ 滑落 空木岳から下山中、約2200M付近にて滑落。その際頸髄損傷。消防ヘリで病院へ収容後、死亡が確認される。 | 死亡 | ¥183,000 |
| 4 | 新潟県 雁ヶ峰 | ※ 単独・道迷い(?) スノーボードで入山中行方不明。発見に至っていないため詳細不明。数次の警察や遭対による捜索活動がおこなわれている。 | 不明 | ¥3,300,000★ |
| 4 | 群馬県 榛名山 黒岩 | ※ 滑落 岩場をリードクライミング中、終了点にてビレイヤーにビレイ解除を告げた後10M～15M程グランドフォール。 | 負傷 | ¥120,000★ |
| 4 | 北アルプス 蓮華岳 | ※ 滑落 蓮華大沢右俣をスキー滑降中、転倒。アイスバーンで200M滑落。斜面の吹き溜まりで倒れているのを同行者が発見。うち1名が付き添いでビバーク、1名が下山し救助要請。翌日救助隊により人力搬送されるが死亡が確認された。 | 死亡 | ¥642,053 |
| 5 | 北アルプス 北穂高岳 | ※ 単独・滑落 他の登山者から滑落の目撃情報が寄せられ、北穂高岳の山頂から300Mほどの斜面で倒れているのが発見されたが死亡が確認された。死因は低体温症。 | 死亡 | ¥227,000 |
| 6 | 山形県大朝日岳 | ※ 転倒 転倒の際に左足首骨折し救助要請。当日はヘリが飛ばず救助隊と合流し、ビバーク。翌朝ヘリで救助される。 | 負傷 | ¥584,503 |
| 7 | 富士山 | ※ 病気 八合目付近でめまいが始まる。本八合目トモエ館に到着するが極度の下痢になる。翌日まで休息をとり下山する予定と変更したが、歩行不能となり救助要請。五合目までブルドーザー搬送。そこからは救急車で病院へ収容される。 | 特になし | ¥40,000 |

| 月 | 遭難発生場所 | 遭難事故の概要 | 被害 | 補てん金額 |
|--|------------------|---|------|-------------------------------|
| 7 | 巻機山 米子沢 | ※ 滑落 標高 1500M 付近の滝でバンド状の途中にある大きな岩に両手で体重をかけたところ岩が動きバランスを崩し、4M ほど滑落した。同行者により救助要請。ヘリにてピックアップされ病院へ収容される。 | 負傷 | ¥ 70,488 |
| 7 | 中央アルプス 木曾駒ヶ岳 | ※ 病気 下山中、千畳敷ホテル手前で突然倒れる。意識が無く、呼びかけにも応じず。ホテル従業員や付近登山者により救命措置がとられた。ヘリで病院へ搬送後、死亡が確認される。 | 死亡 | ¥ 182,874 |
| 7 | 南アルプス 北岳 | ※ 転倒 北岳より下山中、草すべりにて右足を滑らせ転倒し右足首を骨折する。白根御池小屋のスタッフが通りかかり、小屋まで付添下山と救助要請をする。小屋に到着し応急処置を施す。翌朝にヘリにて病院収容。 | 負傷 | ¥ 61,600 |
| 7 | 北アルプス 燕岳 | ※ 転倒 下山中、合戦小屋より 10 分程度の登山道で転倒。左脛骨骨折する。山小屋スタッフと県警により第一ベンチ下まで人力搬送。その後ヘリで病院へ搬送される。 | 負傷 | ¥ 104,260 |
| 8 | 北アルプス 白馬岳 | ※ 単独・転倒 杓子岳へ縦走中、ザレた下りで足を滑らせ尻もちをつく。その際左足のつま先だけが 90 度回転していた。痛みも少なかったため足を元に戻し歩きはじめる。痛みがひどくなったため白馬山荘で診察を受けるため引き返す。左足首骨折の疑いがあるため救助要請。ヘリにて病院へ搬送される。 | 負傷 | ¥ 60,000 |
| 8 | 北アルプス 烏帽子岳 | ※ 病気 発熱、悪天候によりパーティーとはぐれてしまう。連絡が取れず権太落しにてビバーク。心配になった本隊が警察へ救助要請。 | 特になし | ¥ 70,000 |
| 8 | 北アルプス 白馬岳 | ※ 転倒 白馬岳登山中、熱中症と脱水症状を発病。自力での歩行が困難となり救助要請。偶然通りかかった消防士の応急処置により救助隊が合流した頃には自力下山可能なまでに症状が緩和したため付添下山。 | 特になし | ¥ 60,000 |
| 8 | 北アルプス 槍ヶ岳 | ※ 単独・体調不良 殺生ヒュッテに宿泊中 23 時ごろ突然呼吸が出来なくなり深呼吸を繰り返す。その後少しおさまったが、息苦しさは続く。翌朝変化が無いため、診療を受けたところ狭心症の疑いありと診断。下山困難となり救助要請。 | 病院収容 | ¥ 400,000 ★ |
| 8 | 南アルプス 北岳バットレス | 4 尾根を登はん予定が 3 尾根を登ってしまい行き詰る。28 日からビバーク。8/29 救助要請。悪天候のためヘリが飛ばず、8/31 山頂から下降したレスキューが発見。その後ヘリにて搬送されるが死亡が確認された。 | 死亡 | ¥ 1,500,000 ★ |
| 9 | 大峰山 稲村ヶ岳 | ※ 単独・道迷い 下山中に行方不明となる（山頂での目撃情報あり）。単独のため詳細不明。10/2 発見される。 | 死亡 | ¥ 1,300,000 ★ |
| 9 | 尾瀬 燧ヶ岳 | ※ 転倒 見晴新道を下山中、足を滑らせ転倒。その際右手をつき右肩完全脱臼する。携帯が繋がらないため燧小屋まで下山。救助ヘリを要請したが悪天により飛行不可のため、山岳警備隊に出動要請。山小屋組合からのストレッチャーと救助員 7 名で牛首分岐まで搬送。山岳警備隊 3 名と合流し、応急処置後、付添で鳩待峠まで自力下山。そこから救急車で病院へ収容される。 | 負傷 | ¥ 70,000 |
| 9 | 山形県 大朝日岳 | ※ 道迷い 大朝日岳より下山途中、二股付近にて道迷い。上倉山山頂で電波が入った為、朝日鉱泉へ救助要請。 | 負傷 | ¥ 350,000 ★ |
| 10 | 秋田県 森吉山 | 7 人パーティーで桃洞沢を登り、赤水沢を下降中に日没によりビバーク。宿泊予定の山荘の関係者が警察へ通報。翌朝から捜索を開始。正午過ぎに自力で下山しているのを発見された。7 名全員 jRO 会員。 | 特になし | ¥ 210,000 ★ (¥ 30,000×7 名) |
| 総額 (11/1 現在) 【支払済 +★未請求 (見込) 額】 | | | | A ¥ 13,199,152 |
| 推計値 (10/31 現在未報告案件及び 11/1 以降発生案件に対応するため 下記参照) | | | | B ¥ 16,500,000 |
| 2016 事後分担金算出の基礎数字 (事後分担金計算式の分子) A + B | | | | C ¥ 29,699,152 |
| 2016 会員総数 (11/1 現在のエラー無会員総数) | | | | D 63,090 名 |
| 2016 事後分担金 C ÷ D = ¥ 470.74 (端数切り上げ) | | | | E ¥ 500 |

◎推計値 (B 欄 ¥ 16,500,000円) の算出について

- 一般的に12月の遭難件数は他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても2008年12月は3件、2009年は2件、2012年は2件、2013年は4件、2014年は3件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。(2011年には発生はありませんでした)
2012年の場合は、長期にわたる捜索活動が実施されました。また過去にも12月は高額のカバレッジの支払いが発生しております。
- jRO会員数は2009年末の会員数約 1 万名に比べて、本年度は6.3倍 (約6.3万名) となり、事故件数はそのまま6.3倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- 遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、また11月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- B欄 1,650万円という推計値はjRO規約による補てん金上限 (330万円) の支払いが起きた場合には5名分の金額になり、前記のような過去の経験値を勘案し算出いたしました。
- 2016年の補てん金額が確定されるのは2017年11月を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 次ページに2015年度補てん金お支払い実績表 (確定) を掲出いたしました。

2015年補てん金お支払い実績表(確定)

●2015年事後分担金の精算(相殺処理)金額: ▲300円

●2016年11月現在、昨年度補てん金お支払対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2015年補てん金(カバレッジ金額)総額といたしました。

★未請求案件

| 月 | 遭難発生場所 | 遭難事故の概要 | 被害 | 補てん金額 |
|----|-------------|--|------|------------|
| 1 | 北ア 大遠見山 | 大遠見山でテントが倒壊した為、警察へ救助要請を行い、ヘリにて救助。 | 凍傷 | ¥329,140 |
| 1 | 八ヶ岳 赤岳 | 地藏尾根を下山中、地吹雪等の視界不良により道に迷い谷筋へ入ってしまう。さらに負傷した為、携帯にて救助要請。 | 負傷 | ¥70,200 |
| 1 | 新潟県かぐらスキー場 | 積雪量が多く目的の逆の斜面に迷い込んでしまう。携帯が圏外だったため、自らの救助要請は出来ず、宿泊していた施設から警察、家族へ連絡があり捜索願いが出される。遭難発生2日後に県警ヘリにより発見、救助される。 | 特になし | ¥95,306 |
| | | | 特になし | ¥45,306 |
| 1 | 八ヶ岳 天狗岳 | 東天狗岳より黒百合ヒュッテへ下山中、視界不良により道迷いとなり雪洞・ツェルトでビバーク。携帯電話にて救助要請。翌日救助隊により救助される。 | 特になし | ¥166,559 |
| | | | 特になし | ¥131,440 |
| 1 | 白馬五竜遠見尾根 | 五竜遠見スキー場駐車後、行方不明。山スキー中に雪崩に巻き込まれたと思われる。第一次捜索後、大学OB会・所属山岳会組織による捜索隊が組織され順次捜索活動にあたる。遭難発生日(推定)から発見まで5カ月の日数を要した。費用の差は発見された順および他の制度・保険との按分負担による。 | 死亡 | ¥1,393,738 |
| | | | 死亡 | ¥947,814 |
| | | | 死亡 | ¥740,838 |
| 1 | 赤倉観光リ조트スキー場 | 発見当時、雪に埋もれた状態で倒れており、スキーははいていない状態。雪崩に巻き込まれ死亡したとみられる。 | 死亡 | ¥754,120 |
| 2 | 北ア 白沢天狗山 | 山スキー中雪崩に巻き込まれ、立ち木にぶつかり即死だった模様。事故発生2日後に発見、防災ヘリにて収容。 | 死亡 | ¥264,454 |
| 2 | 北ア 乗鞍岳 | 谷筋に迷い込んでしまい救助要請。携帯電話のGPS情報を警察が把握し、合流地点を指示され合流。付き添い下山。 | 特になし | ¥49,260 |
| 3 | 妙義山星穴岳 | 星穴岳手前の岩峰にて休憩しようとして滑落。同行者が携帯で救助要請。事故発生1時間30分後にヘリにて救助。 | 負傷 | ¥190,908 |
| 4 | 南ア 甲斐駒ヶ岳 | 県警ヘリが8合目の登山道から数百メートル下の沢で倒れているのを発見、ヘリにて山麓に運んだが死亡が確認された。 | 死亡 | ¥209,505 |
| 5 | 北ア 前穂高岳 | 前穂高岳北尾根上4峰とつつき中に落石を受け4名パーティー中、1名負傷・1名は落石を受け120Mほど滑落死亡。涸沢ヒュッテ経由で警察へ救助要請。ヘリにて松本の病院へ搬送される。 | 負傷 | ¥83,250 |
| | | | 死亡 | ¥225,000 |
| 6 | 大雪山系旭岳 | ガスと強風の中、パーティーが別れてしまう。同行者、遭難者から別々に警察へ救助要請。翌日ヘリにてピックアップ。 | 特になし | ¥336,768 |
| 7 | 雲ノ平高天原大東新道 | 岩に足を置いた瞬間滑りバランスを崩し、黒部川に滑落する。その際右肩脱臼し歩行困難となる。ヘリにて病院へ搬送される。 | 負傷 | ¥8,045 |
| 7 | 北ア 西穂高岳 | 西穂高岳にて100Mほど滑落。遭難発生日(推測)から4日後に県警ヘリによって沢にて発見、収容される。単独のため詳細不明。 | 死亡 | ¥237,896 |
| 8 | 鳥海山 | 頂上まで約300メートル地点で突然、意識を失う。悪天候によりヘリが飛ばず、通報から約5時間後に地上で搬送。 | 死亡 | ¥83,717 |
| 8 | 滝子山大鹿沢ズミ沢 | 滝の登はん後、傾斜が落ち着いた場所でテラスに移ろうとしたとき足を滑らせて滝を滑落。ヘリにてピックアップ。 | 死亡 | ¥220,710 |
| 8 | 北ア 劔岳 | 劔岳登頂後、一服飲にて急性心筋梗塞を発生し登山道へ転倒、意識が無くなる。付近登山者により救助要請。消防ヘリにて最寄り医療機関へ収容され、死亡が確認された。 | 死亡 | ¥46,136 |
| 8 | 北ア 大天井岳 | 切通岩付近にて◎印の岩から直上する。その後岩がなくなり、ハイマツをつかみながら登るが道が見つからず道迷いと判断。 | 特になし | ¥85,196 |
| 8 | 北ア 薬師岳 | 折立から薬師岳方面に向かう途中、石ころの多い登山道でつまづき額を強打、亀裂し出血。太郎平小屋へ救助要請。歩行可能の為、救助へ出発した隊と合流する為下山開始。途中合流し、隊員の判断により出血が多く緊急を要するためヘリを要請。ヘリにてピックアップ、医療機関へ搬送される。 | 負傷 | ¥41,600 |
| 8 | 秋田県 小又峡 | 小又峡三階滝より上流の滝壺へ転落。水圧により浮上できずに死亡。翌日警察・消防により発見。 | 死亡 | ¥247,066 |
| 8 | 南ア 鳳凰三山 | 道が分からなくなり下山していたところ、足を滑らせて滑落・死亡。同行者は翌日に自力で下山し、警察と消防が遺体を収容した。 | 死亡 | ¥200,000 |
| 8 | 北ア 白馬岳 | 登山道の木の根っこに足をとられ転倒、右ひざを強打。警察・消防・遭難協働隊で搬送される。 | 負傷 | ¥92,980 |
| 8 | 北ア 燕岳 | 燕岳から中房温泉へ下山中、富士見ベンチ手前にて転倒した際に足首脱臼骨折する。人力担ぎと救急車で病院へ搬送される。 | 負傷 | ¥147,434 |
| 9 | 北ア 奥穂高岳 | 紀美子平付近を通過後、悪天候により道が分からなくなり救助要請。付近の山小屋スタッフにより救助される。 | 特になし | ¥206,636 |
| 9 | 北ア 横尾～涸沢 | 登山中に脱水症状による意識混濁状態となり、救助要請。涸沢ヒュッテからのレスキュー・警察による付添下山。 | 特になし | ¥43,735 |
| 9 | 新潟県 鳥山山 | 下山中に転倒、さらに夜12時に懐中電灯の電池が切れ、登山口から200M程のところまでビバーク。家族より救助要請。翌日自力下山。 | 特になし | ¥60,500 |
| 10 | 北ア 前穂高岳 | 奥又白池方面への案内標示を見落とし道間違える。下山を試みるがさらに道に迷い急坂から降りられなくなった。雨天と疲労の為、行動不能となり、携帯電話にて救助要請。中又白谷にてビバークした後に救助された。 | 特になし | ¥123,302 |
| | | | 特になし | ¥179,782 |
| 10 | 長野県八ヶ岳大同心 | 大同心上部登攀中に滑落。同行者が救助活動し、硫黄岳山荘泊。翌朝、県警ヘリに収容され、富士見町の病院に入院。 | 負傷 | ¥105,981 |
| 10 | 鳥海山 | 踏み跡の多い下山道を目的の道と間違え下山。ビバーク後に山頂へ登り返しをするが行動が困難となり救助要請。 | 特になし | ¥4,340 |
| 10 | 北ア 北穂高岳 | A沢コル飛降り付近にて滑落。付近登山者により救助要請。消防防災ヘリで搬送されたが、病院で死亡が確認された。 | 死亡 | ¥224,197 |
| 10 | 愛鷹山袴腰岳 | 下山道を間違え谷を下降してしまう。体力がなくなっていたので谷筋を下る。その際負傷し岩陰でビバーク。 | 負傷 | ¥68,400 |
| 10 | 山梨県 三つ峠 | 三つ峠登山口から四季楽園へ登山中に頭がくらくらして動けなくなってしまう。四季楽園からジープにて救助。 | 特になし | ¥50,000 |
| 10 | 北ア 涸沢岳 | 靴のかかとが岩に挟まり右足を出したところ足首に痛みが走るが涸沢ヒュッテまで自力下山。翌朝歩行不能となり救助要請。 | 負傷 | ¥54,980 |
| 11 | 北ア 北穂高岳 | 北穂高沢ゴルジュ下山中に大雪の為、トレースを見失い行動不能となる。救助隊による人力搬送と付添いで自力下山。 | 特になし | ¥348,395 |
| 12 | 北海道大雪山系黒岳 | 山頂付近にほぼ達したところで、姿が見えなくなったため、同行者が捜しに行くが見つからず、両手の手袋が残されていた。斜面の下で150Mほど下った場所で滑落時にできるような跡が見つかった。翌日朝から捜索を開始。登山仲間4人や陸上自衛隊のヘリコプターも加わり、雪に埋もれて心肺停止の状態で登山仲間が発見した。 | 死亡 | ¥166,276 |
| 12 | 富士山 | 2名パーティーで山頂からの下山中、9合目付近のアイスバーンから8合目付近まで滑落。同行者により救助要請。強風のため、ヘリでの搬送は断念され、担架にて5合目まで搬送。警察署にて死亡が確認される。滑落の際に頸椎骨折したと思われる。 | 死亡 | ¥391,976 |

2015年度補てん金額合計

¥9,472,886^{※1}

| 2015年度事後分担金精算額 | | 2015年度事後分担金支払い状況 | 口座請求額 | 振替不能額 | 支払済 |
|--|---------------------------------|---------------------------|------------------------|---------------------------|-----|
| 上の補てん金総額および会員からの事後分担金お支払い状況により、2015年事後分担金の確定精算額は、 会員1名あたり200円 といたしました。 すでに2016年に事後分担金を500円お支払いいただいておりますので2017年に300円を返金(相殺処理)させていただきます。 ご了承をお願い申し上げます。 | 1月1日~9月30日口座請求実績 | ¥26,702,000 | ¥2,091,000 | ¥24,611,000 ^{※2} | |
| | 10月1日以降請求予定金額(口座振替・クレジット・その他含む) | ¥1,857,000 | ¥185,700 ^{※3} | ¥1,671,300 | |
| | 合計 | ¥28,559,000 | ¥2,276,700 | ¥26,282,300 | |
| | 2015年度補てん金額 | ¥9,472,886 ^{※4} | | | |
| | 超過額: A | ¥16,809,414 ^{※5} | | | |
| | 事後分担金お支払済み人数: B | 52,565 ^{※6} | | | |
| | 事後分担金精算額: A/B | ¥300 ^{※7} | | | |

^{※1} お支払事後分担金総額
^{※2} 郵便振替支払い含む
^{※3} 過去実績より約10%と推定
^{※4} 受付済未請求事故1件(★)を含む
^{※5} ¥26,282,300 - ¥9,472,886
^{※6} 9月末までの各会員支払実績および10月以降予定人数
^{※7} ¥319.78円の100円未満を切捨て